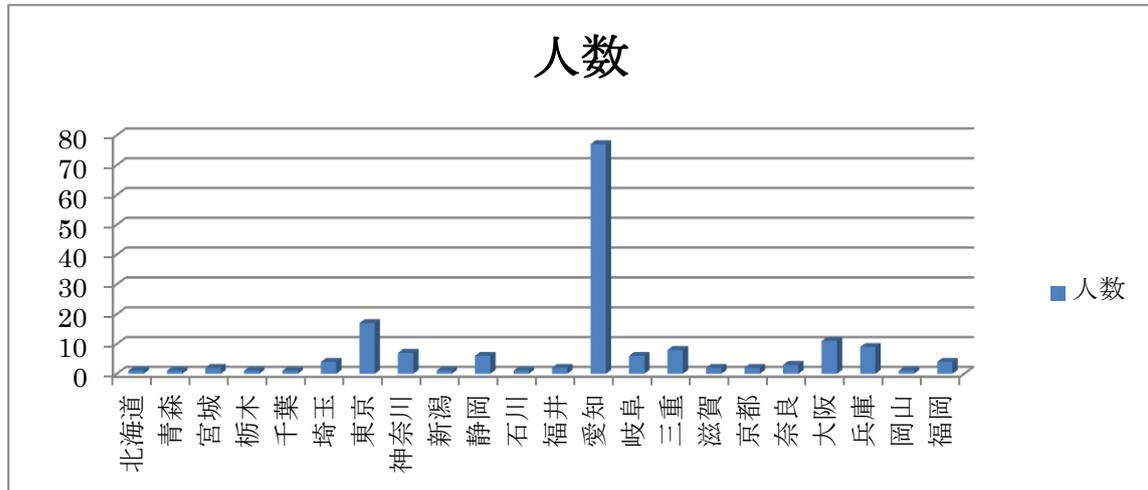


第1回棋士豊島将之ファンのつどいが、2019年10月14日（月・祝）愛知県一宮市J R尾張一宮駅7階シビックホールで開催されました。

北海道・青森・宮城・新潟・石川・福井・栃木・千葉、東京・埼玉・神奈川・静岡・岐阜・愛知・三重・滋賀・京都・奈良・大阪・兵庫・福岡から 235 名の応募があり、欠席もありましたが、棋士 24 名含めて 250 名が参加しました。



午前中は、24名の棋士が延べ192名のアマチュア将棋ファンに指導対局を行い、熱気があふれていました。



その後 24 名の棋士全員が壇上に並び、ファン一人一人との記念撮影となりました（下記）



開会式には中野正康一宮市長のご挨拶もあり、24名の棋士がそれぞれのテーブルで昼食や飲み物を取りながらファンと交流を行いました。豊島名人は一人壇上に立ち、ファン一人一人と会話と握手をする時間も設けられ、長い列ができました。



お楽しみ抽選会は、誕生日が豊島名人と同じ人や近い人に豊島名人の色紙が、棋士の思い出のある所蔵の品々がファンの方々に贈られました。

最後に、第1回棋士豊島将之ファンのつどいと記した色紙と、24名の棋士全員の寄せ書きの写しと記念写真を携え、棋士のお見送りを受けて、第二回ファンのつどいが2020年8月16日に同会場で開催されることが決まっていることを胸にきざみ、再開を楽しみに会場を後にしました。

ご出席頂きましたファンの皆さま、棋士の皆様、裏方のスタッフの皆様、大変ご苦勞様でした。

